

# 言語表現技術 3 ・ 4 級

	内容	方法・時間
4級	童話などの短い文章の読み聞かせ	個別・2分
3級	紙芝居の実演	個別・3分
2級	絵本の読み聞かせ	個別・3分
1級	お話（素話）の創作と実演	個別・3分

## 3級

### 1 出題の趣旨

**紙芝居を用いて、幼児の発達段階にふさわしい演じ方ができ、その扱い方や言語表現の基礎的技術が身についたかを検定する。**

## 2 内容

**指定された年齢にふさわしい紙芝居を用いて、その年齢の幼児を前にしたつもりで適切な表現方法で演じる。 (実技3分)**

### 3 実施上の注意

検定実施日の**1週間前**に対象児の**年齢**を知らせる（3～5歳）

指定年齢にふさわしい紙芝居を準備させ、自分のものとして捉えられるまで繰り返し練習させる。

## 4 検定の実施

- ① **5分前**に所定の場所で受験番号など必要事項を記入する
- ②入室後、個票を提出し挨拶をしてから開始する  
(3分間±15秒以上の場合は減点)
- ③その場で評価される

## 5 準備するもの

**受検用の紙芝居、問題（個票）**

**採点表、砂時計（生徒用）**

**ストップウォッチ（教員用）**

**筆記用具**

**紙芝居の舞台があると望ましい**

## 6 指導（読み方の練習）

- ・ **順番**を確認する
- ・ **下読み**（内容を把握する）登場人物を確認する
- ・ 絵を見て子どもたちの視線を想像する
- ・ 「**声の出し方**」「**間**」「**抜き方**」を練習する
- ・ 抜き方は水平に静かに抜く
- ・ 抜き方の具体例  
「抜きながら」「速く抜く」「線まで抜いて」など
- ・ **年齢**にふさわしく、適切な速さで読む練習
- ・ **内容**にふさわしい声や速さで表現する練習



## 4級

### 1 出題の趣旨

**童話や童話の短い文章を、正しく読んだり表現したりすることにより、幼児の発達段階にふさわしい言語表現の基礎的技術が身についたかを検定する。**

## 2 内容

**指示された童話や物語の短い文章を、指定された年齢の幼児にふさわしいように読み聞かせる。**

**(実技 2 分)**

### 3 実施上の注意

検定実施日の

**1週間前**に

対象児の**年齢**を知らせる

## 4 検定の実施

- ① 所定の場所で **3分間**、問題文を読む
- ② 入室後問題（個票）を提出し、挨拶をしてから開始する
  - ・ **題名**と**本文**を読む
  - ・ 作者は読まなくてよい
  - ・ 2分を超過しても時間経過に関する評価に影響しない
- ③ その場で評価される

# 5 準備するもの

**問題用紙（個票）**

**問題文 採点表**

**ストップウォッチ（教員用）**

**砂時計（生徒用）**

**筆記用具**

# 6 指導

## 読み方の練習

- ・年齢にふさわしく、適切な速さで読む  
(3～5歳)
- ・句読点、段落等を捉えた適切な読み方
- ・読み誤りがなく聞き取りやすい読み方
- ・内容にふさわしい声や速さで表現する

**丁寧に、恥ずかしがらず、  
はっきり、大きな声で**

## 7 過去の出題例

- ・ したきりすずめ
- ・ かさじぞう
- ・ ももたろう
- ・ かちかちやま
- ・ ねずみのもちつき 等